

想定される論議対象事項

平成 25 年 5 月 22 日

消防団員確保対策に関するシンポジウム

1 消防団及びその活動に関する実態及びイメージの向上

国民が持っている消防団の実態認識とイメージについての評価

我が国の消防防災体制における消防団の重要性に関する国民合意の確立

2 消防団活動の一層の充実強化

「常備消防 + 消防団」という我が国独自の自治体消防連携体制における消防団ならではの役割発揮（「即時対応力・地域密着力・要員動員力」の真価発揮等）

地域総合防災力の中核としての消防団活動の展開、地域防災諸活動との日常的な融合深化（地域における D I G の指導、青少年・女性・自主防災組織との連携・協力、消防団詰所の地域防災コミュニティセンター化等）

“We serve, educate and lead”（アメリカ・ワシントン州消防）

消防団による近隣応援体制の整備（応援協定の締結、協定に基づく指揮系統の確立、後方支援体制の整備、合同訓練の実施等）

期待される活動を実現するための消防団の装備及び教育訓練の充実（消防団の装備のあり方、適切なカリキュラム・計画による教育訓練の実施、訓練実施体制の整備、技術習得団員の認証等）

期待される活動を実現するための活動環境の整備、消防団員の確保（被雇用者の入団・団活動についての使用者の理解、装備・情報等の充実による安全確保、活動実態に応じた処遇の改善、事故発生時の補償措置、女性団員にも配慮したトイレ等の詰所設備や活動服の改善、「消防団応援の店」の全国展開等）

3 消防団のイメージの向上

上記 2 の消防団活動の一層の充実強化によるイメージの向上

消防団の実態にまで踏み込んだ国、地方公共団体の行政広報等によるPR

テレビ、映画、演劇、歌、SNS等様々な方法による消防団の実態のPR

消防団員がひとり人間として浮かび上がるPR(「おはよう！ニッポン全国消防団」
のような方法によるPR等)